

一般廃棄物処理体制の検討に係る民間事業者への サウンディング調査実施要領

1 調査目的

碧南市及び高浜市（以下「両市」という。）の一般廃棄物の中間処理（焼却・破碎・選別等）を担う「クリーンセンター衣浦」は、平成7年度の竣工から約30年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。過去に大規模な延命化工事を実施したものの、一般的な耐用年数（20年から30年）は超えており、設備の故障等の事案も発生しているのが現状です。

廃棄物処理施設の広域化（両市及び安城市で統合）は早くても2052年度以降となる見込みです。加えて、将来的な人口減少やリサイクルの進展に伴うごみ減量や両市の財政運営状況などといった課題もあります。

このような中、両市の協議では廃棄物処施設新設の検討をすすめることとしたところです。その選択肢として民間施設等の活用についても検討対象として情報収集することといたしました。

こうした背景を踏まえ、クリーンセンター衣浦整備構想（改定版）（以下「整備構想」という。）を基に、両市における一般廃棄物処理体制について民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて意向等を把握することを目的とし、サウンディング調査（以下「調査」という。）を実施するというものです。

2 調査の概要

(1) 前提条件

民間事業者が両市の一般廃棄物の中間処理（焼却・破碎・選別等）を運営等すると仮定した場合の前提条件は下記のとおりです。

ア 既存施設（クリーンセンター衣浦）の概要

所在地	愛知県碧南市広見町1丁目1番地1
敷地面積	21,985.4 m ²
延べ面積	11,867.3 m ²
工場棟	10,530.7 m ² （鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階建）
管理棟	914.1 m ² （鉄筋コンクリート造 2階建） 計量棟・車庫棟・自動洗車場等

受入供給設備	ピットアンドクレーン方式	
粗大ごみ処理	処理能力	40トン/5H
	処理方式	剪断式破砕機、回転式破砕機
焼却処理	処理能力	190トン/日
	焼却設備	全連続燃焼式
竣工	平成7年9月	
整備構想における建設費・維持管理費	焼却単体 44,270,000 千円・メタン＋焼却 48,406,000 千円 ※クリーンセンター衣浦整備構想（改定版）を参照	

イ クリーンセンター衣浦廃棄物処理量

項目		令和5年度実績	令和18年度推計
焼却処理量		36,241 t	31,732 t
	可燃ごみ	27,823 t	26,053 t
	破砕後可燃物	7,556 t	5,679 t
	し尿処理残渣	862 t	未推計（※その他3）
破砕処理量		8,631 t	6,611 t
	粗大ごみ	7,235 t	5,132 t
	不燃ごみ	1,396 t	1,479 t
その他		1 収集運搬は両市の委託で実施 2 令和6年度の処理費は1,373,924千円 3 未推計のため、令和5年度実績を推計量とする。 4 建設地は2号地多目的グラウンドを想定する。	

ウ クリーンセンター衣浦中間処理費（過去5年分）

単位：千円

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中間処理費		2,450,020	1,631,124	1,385,729	1,348,199	1,373,924
	工事費	1,370,174※	557,526	341,230	209,000	214,500
	処理費	568,275	616,303	594,031	667,074	325,893
	委託費	511,571	457,295	450,468	472,125	833,531

※火災に伴うクリーンセンター衣浦復旧工事の影響による

エ 事業想定区域（2号地）：碧南市港南町】

地番図	航空写真
基本情報 ①用途地域：工業専用地域（建ぺい率60%、容積率200%） ②土地利用規制：無 ③近隣（住居・要配慮施設）：約420m（住居）、約330m（児童養護施設） ④主要接道道路：市道港南1号線（1級路線） ⑤下水道計画：計画区域外	

エ ごみの分別区分（碧南市）

区分	種別	種類	収集方法	排出方法	収集頻度
燃やすことのできるごみ			指定路線 収集	指定袋（45リットル）	週2回
資源 ごみ 等	缶	アルミ缶	資源ごみ ステーシ ョン	分別コンテナ等	月2回
		スチール缶			
		その他の缶			
		スプレー缶			
	生 び ん	一升びん			月2回
		ビールびん			
	雑 び ん	無色のびん			月2回
		茶色のびん			
		青・緑のびん			
		黒色のびん			

	破 砕	ライター	資 源 ご み ス テ ー シ ョ ン	分 別 コ ン テ ナ 等	月 2 回
		金属・小型家電等			
	プ ラ ス チ ッ ク	発泡トレー			月 2 回
		発泡スチロール			
		ペットボトル			
		硬質プラスチック			
	埋 立	陶磁器・ガラス・化粧品の びん			月 2 回
	特 別	乾電池			月 2 回
		蛍光灯			
	紙	新聞紙			月 2 回
		段ボール			
		紙パック			
		その他（雑誌を含む）			
	布	衣類			月 2 回
粗 大 ご み		電化製品	粗大ごみ ス テ ー シ ョ ン		月 1 回
		寝具類			
		家具類			
		自転車			
		その他			

オ ごみの分別区分（高浜市）

区分	種別	種類	収集方法	排出方法	収集頻度
燃やせるごみ			ステーション方式	指定袋（３５リットル） 指定袋（２５リットル）	週２回
不燃ごみ		陶器、ガラス、金属類、 小型家電など	拠点回収 方式	分別かご等	月２回
資源 ごみ 等	紙類	新聞紙			月２回
		雑誌・その他の紙			
		段ボール			
		紙パック			
	古繊維類	衣類、ぼろきれなど			月２回
	ペットボトル				月２回
	発泡スチロ ール	発泡スチロール			月４回
		緩衝材			
		トロ箱			
	プラスチック製容器包装				月４回
	びん類	生きびん			月２回
		無色びん			
		茶色びん			
		黒色びん			
		青緑色びん			
	缶類	アルミ缶			月２回
		スチール缶			
その他の缶					
コード類・テ ープ類・使い 捨てライタ ー	使い捨てライター	月２回			
	ビデオ・カセットテープ				
	電気コード類				

蛍光灯・電池類	乾電池・ボタン電池			月 2 回
	蛍光灯、水銀含む温度計等			
スプレー缶				月 2 回
粗大ごみ	家具類	拠点収集方式		週 1 回
	寝具類			
	敷物類			
	諸車両			
埋立ごみ	コンクリートくず・陶器くず・ガラスくず・土砂	直接搬入		随時

※ 原則、衣浦港 2 号地多目的グラウンド（以下「2 号地」という。）で中間処理施設を新設し、中間処理をすることを想定していますが、破碎、選別等は民間事業者の既存の施設（県内に限る）において処理をするという提案も受け付けます。

【提案の例】

- ① クリーンセンター衣浦で実施している内容（焼却・破碎・選別）について、すべて 2 号地で実施する場合
- ② 中間処理の一部（破碎・選別）を民間の既存施設で処理を実施する場合

(2) 対話（提案）を求める内容

対話（提案）を求める内容は下記の事項となります。

ア 想定する処理方式、施設規模について（様式 1－1 に記入）

※複数回答可

イ 事業方式の意向について（様式 1－1 に記入） ※複数回答可

イ-2 処理対象物の種類、年間処理量及び処理フロー

（様式 1－1 及び任意様式に記入）

※イにおいて、「民設民営方式」を選択した場合に記載

ウ 事業期間の意向について（様式 1－1 に記入）

エ 資源循環や Co2 排出量の削減に資する処理方法等の考えについて（廃棄

物リサイクル、焼却灰の資源化、焼却以外の処理方法等）（任意様式に記入）

オ 概算の建設費、維持管理費及び委託費（委託単価）について（様式 1－1 に記入）

※工事費、処理費等の回答にあたって、不明な点は質問書にてお問合せください。

カ 建設地の保有体系の意向について（様式 1－1 に記入）

キ 災害時の廃棄物処理体制について（任意様式に記入）

ク 鳥インフルエンザ等の患畜の受け入れの可否（様式 1－1 に記入）

ケ 事業継続体制（廃棄物の安定処理）について（任意様式に記入）

コ 事業スケジュールについて（※整備構想では令和 18 年度の新設を想定しています。）（任意様式に記入）

サ 事業実施に当たり行政に期待すること、課題等について（任意様式に記入）

(3) 参加対象者

両市の一般廃棄物処理体制の構築に意欲を有する法人又は法人のグループで次に掲げる要件の全てを満たす者とします。

ア 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しないこと

イ 本実施要領の公表の日から対話実施日までにおいて、「碧南市が行う事務及び事業からの暴力団排除に関する合意書」（平成 24 年 12 月 27 日付け碧南市長等・愛知県碧南警察署長締結）に基づく排除措置を受けていないこと。

ウ 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続開始の申立て、民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続開始の申立て又は破産法（平成 16 年法律第 75 号）に基づく破産手続開始の申立てがなされていないこと。

エ 法人税、消費税及び地方消費税を滞納していないこと。

オ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 7 条第 5 項第 4 号及び同法第 14 条第 5 項第 2 号に定める欠格要件に該当しないこと

3 スケジュール

参加申込 (エントリーシート・提案書の提出)	令和7年8月18日(月)から 令和7年10月3日(金)17時まで
質問の受付	令和7年8月18日(月)から 令和7年9月5日(金)17時まで
対話の実施	令和7年10月20日(月)～ 10月31日(金)
サウンディング結果の公表	令和7年12月中旬頃

4 参加申請

(1) 参加申込

エントリーシート(様式第1)に必要な事項を記入するとともに、可能な範囲で提案書(様式は任意、A4サイズで縦横自由)を作成し、電子メールにて申込みしてください。なお、メールの件名は「【サウンディング調査】参加申込(事業者名)」としてください。

碧南市環境課メールアドレス kankyoka@city.hekinan.lg.jp

※ファイル転送サービス等を利用する場合のその旨を伝えてください。

(2) 申込受付期間

令和7年8月18日(月)～10月3日(金)17時まで

(3) 質問の受付及び回答

ア 質問受付期間

令和7年8月18日(月)～9月5日(金)17時まで

イ 質問方法

質問票(様式第2)に質問内容を記入し、電子メールにて送付してください。なお、メールの件名は「【サウンディング調査】質問票(事業者名)」として下記アドレスに送付してください。

碧南市環境課メールアドレス kankyoka@city.hekinan.lg.jp

ウ 回答時期及び方法

令和7年9月12日(金)頃に市HPに掲載いたします。なお、応募に関係のない質問にはお答えできない場合があります。

5 対話の実施

(1) 実施日

令和7年10月20日（月）から10月31日（金）までの期間で日程調整の連絡をいたします。時間は午前10時から17時までの1～2時間程度です。

(2) 会場

碧南市役所（碧南市松本町28番地）

(3) その他

ア 対話は参加事業者の知見及びノウハウ保護のため、個別に行います。

イ 対話に出席する人数は、1グループ5名以内としてください。

ウ 対話はあらかじめご提出いただいた提案書を投影して実施します。投影データ及びパソコンは参加事業者にてご用意ください。投影にあたっては、HDMI接続が必要です。

(4) 結果の公表

サウンディング調査の実施結果は、概要を市HPにて公表する予定です。参加事業者の名称は非公表とします。なお、提出された資料は、公文書として扱われるため、情報公開請求の対象となります。公表ができない資料については、非公表の条件を付し、行政機関として任意の提供を要請するなどの対応も想定されますので、事前にご相談ください。

6 留意事項

(1) 参加事業者の取扱い

対話への参加実績は、今後の事業者公募の参加条件及び評価の対象とはなりません。

なお、サウンディング調査に参加した事業者は後日、両市が実施する「廃棄物処理施設におけるごみ処理方式等の選定に係る調査検討業務」に関し、当該業務受託事業者を通じて、別にヒアリング調査を実施する場合があります。

(2) 費用負担

本調査への参加費用は、参加事業者の負担といたします。

(3) 追加調査への協力

本調査終了後も、追加の対話や調査のご協力をお願いする場合があります。

7 問い合わせ先

碧南市役所経済環境部環境課 担当：中川・澤田

電話：0566－95－9900（直通） E-mail kankyoka@city.hekinan.lg.jp

様式第 1

一般廃棄物処理体制の検討に係る民間事業者へのサウンディング調査

【エントリーシート】

令和 年 月 日

法人名		
法人所在地		
グループの場合の構成法人名		
連絡担当者	所属法人名	
	部署・役職	
	氏名	
	E-mail	
電話番号		
サウンディング希望日 ※10月20日～10月31日の間で 記載	第1希望 令和 年 月 日 () 時 分頃 第2希望 令和 年 月 日 () 時 分頃 第3希望 令和 年 月 日 () 時 分頃	
参加予定者氏名	所属法人・部署・役職	

※連絡担当者は、サウンディング日の連絡が取れる方を記載してください

様式第 1 - 1

一般廃棄物処理体制の検討に係る民間事業者へのサウンディング調査

【調査シート】

No	対話（提案）内容	回 答
ア	想定する処理方式・ 施設規模 ※①～③で選択 ※複数選択可	①焼却単独【 t /日】 ②メタン発酵【 t /日】＋焼却【 t /日】 ③その他（ ）【 t /日】
イ	事業方式の意向 ※①～③で選択 ※複数選択可	①公設民営方式（D B O） ②P F I方式（B T O・B O T・B O O） ③民間委託方式 ③を選択した場合はイー2 も回答してください。
イー 2	処理対象物の種 類、年間処理量及 び処理フロー	1 両市の一般廃棄物のみを取り扱う 2 両市の一般廃棄物以外も取り扱いたい 【具体的には】 ①他自治体からの一般廃棄物（種類 t /日） ②産業廃棄物（種類 t /日） ※種類が複数ある場合は行を増やして記載 ※処理フローは任意様式にて記載
ウ	事業期間の意向	事業期間●年(想定事業期間：令和 年～令和 年)
エ	資源循環や Co2 排 出量の削減に資す る処理方法等の考 えについて	廃棄物リサイクル、焼却灰の資源化、焼却以外の処 理方法等について任意様式にて記載
オ	概算の建設費、維 持管理費、委託費 （委託単価）につ いて	(円～ 円の間)
カ	建設地の保有体系 の意向について	①所有 ②賃貸 ③どちらでもよい

キ	災害時の廃棄物処理体制	フロー等を任意様式で記載
ク	鳥インフルエンザ等の患畜の受け入れの可否 ①、②から選択	①受け入れ可能 ②受け入れ不可
ケ	事業継続体制（廃棄物の安定処理）について	任意様式で記載
コ	事業スケジュールについて（※整備構想では令和18年度の新設を想定）	2号地多目的グラウンドに建設から稼働までのスケジュールを任意様式で記載
サ	事業実施に当たり行政に期待すること、課題等について	自由記載（任意様式で記載も可）

様式第 2

質 問 票

提出日 令和 年 月 日

提出期限：令和 7 年 月 日 () 17 時まで

回答時期：令和 7 年 月 日 () 頃に碧南市及び高浜市HPに掲載します。

留意事項：募集事項に関係が無いと思われる質問には回答できません。

法人名(グループの場合は代表法人名)				
法人所在地				
グループの場合は構成法人名				
担当者	法人名・ 部署		氏 名	
	E-mail			
	電話番号			

サウンディング調査に関する質問